

卷末資料

東京音楽学校職員一覽および在職年表

凡 例

- 一 人名の漢字は旧字体を使用し、俗字は正字に直した。ただし、在職年表に関しては一部新字体を使用した。
- 二 表中の日付は原則として辞令に記載されたものを採用した。
- 三 在職年度のみ判明している場合は、年度始め着任、年度末退職の扱いとし、在職年表では年度の表記をもつて日付に代えた。ただし、明治39年以前は9月が年度始まり、40年以降は4月が年度の始まりである。
- 四 昭和27年3月31日の東京音楽学校廃止以降、引き続き在職している職員については、職員一覧、在職年表ともに㊦で示した。
- 五 役職名、掛・係名は当時の名称に準じた。ただし、旧字体、旧仮名遣いは新字体、新仮名遣いに改めた。
- 六 楽器名は現行の表記に統一した。
- 七 専門・担当は東京音楽学校の記録に残されているものを採用した。不明の場合、職員一覧では履歴書や事典類の記述から推定して「」で示し、在職年表では担当科目不明の欄に記載した。
- 八 担当科目および楽器が複数にわたる場合、主専門と考えられるものをゴシック体で示し、在職年表での掲載箇所もそれに準じた。
- 九 音声研究部、唱歌編纂掛、邦楽調査掛、楽語調査掛については、職員一覧のみに記載した。
- 十 典拠資料：『東京音楽学校一覧』『辞令簿』『履歴書』『職員名簿』『同声会名簿』『音楽家人名事典』『朝日人物事典』『日本歴史人物事典』『音楽大事典』『音楽年鑑』『日本芸能人名事典』。

職員一覧

- 一 音楽取調掛発足当初から昭和27年度までの、教員・事務職員・各種掛員・研究部員を取り扱う。
- 二 退職年月日が不明な場合は「？」で示し、資料により在職が確認された年度を括弧内に記した。
- 三 生年が太陽暦採用（明治5年12月3日）以前の場合は、履歴書や辞令簿など、当時の原資料に記載されたとおり、太陰暦による年月日によった。

在職年表

- 一 明治20年から昭和27年度までの教職員、事務職員、管弦楽部関係者を扱う。事務職を兼ねている教職員は、教職員欄に事務職としての役職名を併せて記載した。また、管弦楽部にも所属している教職員については、教職員欄と管弦楽部員欄の両方に記載した。
- 二 在外研究や兵役、休職などの期間、および勤務開始や勤務終了の時期が不明な場合は点線で示した。
- 三 昭和24年度以降、東京芸術大学の職員を兼務している場合は年表上に兼㊦で示した。
- 四 管弦楽部員／委員については、資料で確認可能な昭和17年度末までを作成した。
- 五 分教場は㊦と略記した。
- 六 日付は線の下、身分・担当は線の上に表記した。